

## 「札幌市水素・再生可能エネルギー推進協議会」に参画

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、札幌・北海道における水素社会の実現及びカーボンニュートラルの達成を目指し、2025年6月13日に設立された「札幌市水素・再生可能エネルギー推進協議会」に協議会員として参画しました。

本協議会は、札幌・北海道における水素サプライチェーンの構築と地域産業の創出を目指し、業種の枠を超えて官民が連携して、北海道の豊富な再生可能エネルギーを活用した水素製造や効率的な水素輸送、水素利活用機器の開発等に取り組むために設立されました。

水素は、電源・熱源・原材料等の様々な領域での脱炭素化に貢献することが期待されており、〈みずほ〉は、日本の2050年のカーボンニュートラル実現に不可欠なクリーンエネルギーとして、注力領域の一つに位置付けています。

水素の普及にあたっては、需要創出に向けた製造・利活用コストの低減と、需要に見合った供給を可能とするサプライチェーンの構築が課題となっていますが、足元では、政策支援等により水素供給体制の整備と需要の立ち上げが目指されており、水素利活用の土壌が整っていくプロセスにあると考えます。

〈みずほ〉は、本協議会への参画を通じて、札幌市（協議会座長）をはじめ、参画する様々な民間事業者、金融機関、自治体・各種団体の方々と連携し、札幌・北海道における水素社会をともに構想しつつ、より効率的な水素サプライチェーンの構築と水素関連ビジネスの創出に貢献していきます。

## <補足>

### 1. 本協議会の検討テーマ

#### (1) 「つくる」

再生可能エネルギーのポテンシャルの高いエリアと連携し、発電事業と組み合わせたグリーン水素製造・供給モデルの構築

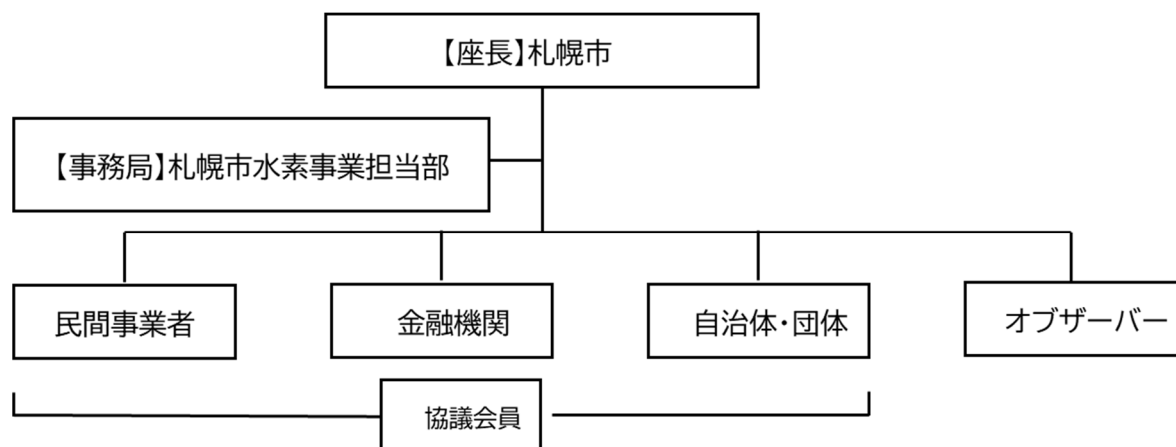
#### (2) 「ためる・はこぶ」

効率的に水素を貯蔵・運搬する技術（水素キャリア）を活用した既存物流・配送網との連携による水素輸送の実現

#### (3) 「つかう」

民間事業者などと連携した水素利用機器の研究開発および需要の創出

### 2. 本協議会の構成



以上